

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

## 資料室

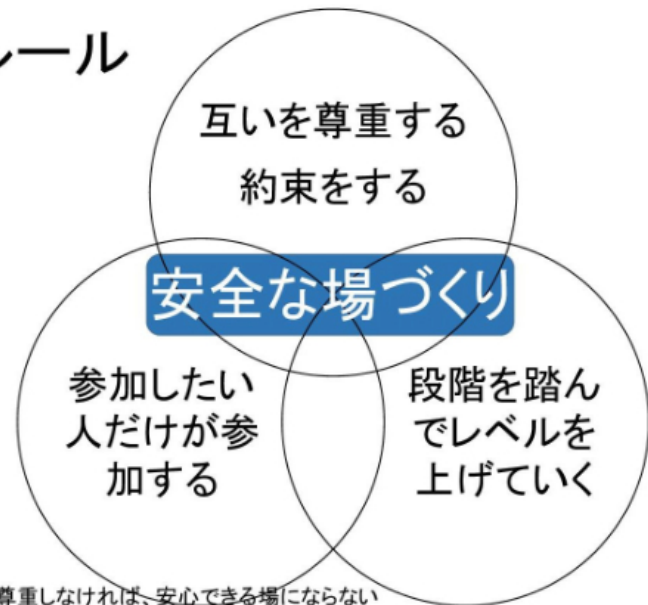

[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [人間関係とコミュニケーション](#) | [対話のすすめ](#) ⑨「対話」のルール
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)

### 対話のすすめ ⑨「対話」のルール

チーム内の信頼感が醸成されないと「対話」も思うように進みません。なかにはそういう活動に消極的なメンバーや、それよりもディスカッションでスピーディーに事を進めるべきだという考えもあります。

そこで新たに「対話」活動を進めようとするときには3つのルールに従っています。

## 3つのルール



やりたくない気持ちも尊重しなければ、安心できる場にならない

対話で欠かせないのは「安全な場」です。

自由な意見が出てこない対話になりませんが、自由にものを言ったら後でお叱りを受けたんでは堪りません。

ひとつめのルールは「お互いを尊重する約束をしておく」です。

自分が思っていること（感じていること）を正直に伝え、お互いの気持ちを大切にします。

自分や他のメンバーが尊重されていないと感じた時に素直に受け入れ、みんなでそれを变える努力をしていきます。

ふたつめは「参加したい人だけが参加し、強制はしない」です。

メンバーの主体性を尊重するためには、参加する、しないを自分で選択することを原則とします。

嫌がる人を強制的に参加させたら、それだけで安心できる場はつくれません。

そうかといってメンバーから外してはいけませんから、観察者としてその場にいられます。

何度が繰り返していけばそんなメンバーも安心できる場と認識してくれます。

教育カリキュラム

日本国憲法

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

みつつめは「段階を踏んでレベルを上げていく」です。  
初対面でも気軽にできるものから始め、徐々にある程度の信頼関係がないとやりにくいものへ進化させていきます。  
とにかくあまり無理をせず一歩一歩進めていきます。

「対話」活動がうまく進むようになると、ディスカッションも活性化していきます。  
チーム全体のコミュニケーションがよくなるせいでしょうね。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.